（別記）

令和８年度江別市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

１）地域の作物作付状況

江別市は、石狩平野の中央に位置した平坦な地勢で札幌や新千歳空港などの多様な販売拠点や本州との迅速な輸送が可能となる空港にも近い。また、市内には石狩川や千歳川など河川に恵まれ更には、世界有数の平地原生林である野幌森林公園があるなど自然環境にも恵まれている。

当市の農業は、水稲、小麦、大豆、てん菜などの基幹作物に加え野菜や花卉・果樹さらには酪農・畜産等バランスよく行われているのが大きな特徴である。また、加工等の６次産業化など多角的に経営を営んでいる生産者も多い。

今後も、当市の農業経営の発展のために多様な作物への需要に柔軟に対応しながら生産する必要性がある。さらに、水田を含めたブロックローテーションにより輪作体系の確立を重視している。

２）地域が抱える問題

地域における生産者の高齢化や後継者不足に伴う農家戸数の減少により生産者１人あたりの面積は増加傾向にある。今後、農地中間管理事業等を活用しながら担い手に集約する他に新規就農者の参入を引き続き促したい。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

現在の状況としては、地域において収益力の高い水田農業経営を行うためには、土質や輪作体系に配慮した作付体系を確立・維持しながら新しい需要に応じた生産に配慮するとともに価値向上のために需要や地域に適した高収益作物の推奨や低コスト及び省力化の取組を推進する必要性がある。さらに、高値で販売できる有利販売や地産地消、地場産業への供給に対応しながら、環境に配慮した農業や SDGs の趣旨を踏まえた長期間での収益性の高い持続可能な農業経営の実現も目指す。

これらのことを具現化する方策としては、水田農業高収益化推進プロジェクトチームを設置し、その会議内容の中から地域での課題を抽出し関係機関の協力を得ながら、本ビジョンの推進計画の PDCA サイクルの中で調査や分析を行い他の補助事業を活用し問題解決や計画の実行を遂行するものである。

その一方で、高収益作物の中で、加工業務用や輸出の取組を行うなど新たな市場の開拓の動きが広がりつつあり、それに伴いＧＡＰを取得する生産者も増えつつある。

今後、生産者の中で新市場開拓の取組の意向があれば、畑作物産地形成促進事業等も活用しながら推進していく。

また、水稲を含め、飼料用米・米粉用米・備蓄用米・WCS 米などの新規需要米を作付体系に取り入れたブロックローテンションの確立や団地化に努め、併せて低コストの取組を実施することにより、農業経営費を縮減し、収益力の強化にもつなげたい。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

現在の当市の作付動向については、主食用米を中心とした水稲生産、麦・大豆・てん菜等の畑作生産、露地・施設の野菜生産（果樹、花きを含める。）、デントコーンや子実用とうもろこし、牧草を中心とした有畜農家の粗飼料作物生産の4つに大分され、概ね4つの作付形態の複合体を含めて市内の営農形態をほぼ網羅できるが、あくまでも生産者の経営指針や需要に応じた生産という大前提がある。畑地化については、生産者の希望や経営指針、各土地改良区を交えた地域での話合い等繰返し議論を重ねた上で、慎重に判断していきたい。

今後の輪作体系（ブロックローテーション）については、主食用米、麦、大豆、てん菜、地力増進作物という畑作体系に水稲を組み込みつつ、生産者の要望や実需の動向に注視しながら、推進していきたい。

また、長期間、畑作物のみを生産し続けている水田については、水稲を含めた輪作体系を推奨するが、適宜、現地確認を行い、今後の営農形態などの状況および将来を把握し、また、必要に応じて生産者と話合いも行い、畑地化支援について助言をする。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

主食用米は、生産数量目標に沿った作付面積を確保していたが、平成３０年度からは、北海道の生産の目安に配慮しながら、需要に応じた主食用米の生産数量の確保を目指しており、今後の需給バランスや市場価格等を加味しながら、他作物等への転換および非主食用米の拡大について細心の注意を払い消費者や実需者の多様なニーズに応えていく。

（２）備蓄用米

非主食用米の一用途として、買入入札における優先枠を最大限活用し、ホクレン農業協同組合連合会と協議しながら、備蓄用米による安定的な所得確保に向けた取組を推進する。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

水稲作付面積の確保のため新規の需要がある場合は柔軟に対応していきたい。さらに、多収性専用品種の導入についても推進していく。また、需給のバランスや市場価格等により、年度によっては、導入の可能性もあるが、主食用米の動向と並行して慎重に判断し、加工用米との交付単価を比較しながら、需要に応じて、国からの数量払いや北海道枠の産地交付金等を最大限に活用し、消費者や実需者の多様なニーズに応えていく。

イ　米粉用米

米粉用米は、新規の要望等があれば柔軟に対応していきたい。また、需給のバランスや市場価格等により、年度によっては、導入の可能性もあるが、主食用米の動向と並行して慎重に判断し、国からの数量払いや北海道枠の産地交付金等を最大限に活用し、消費者や実需者の多様なニーズに応えていく。

ウ　WCS 米

出荷先については、酪農・肉牛生産者や商社が主となるが市内には、酪農・肉牛生産者も多いことから、有畜農家が供給先の一つとして十分な候補になると思われる。

エ　加工用米

冷凍食品等の米の加工用事業者から、ホクレン農業協同組合連合会を通しての需要があり、生産者の希望に応じて、取組を実施する。今後も需要に応じて国からの面積払や北海道枠の産地交付金等を最大限に活用し、実需者の多様なニーズに応えていく。

オ　新市場開拓用米

地域の商社を通じての需要があり、生産者の希望に応じて取組を実施する。今後も、需要に応じて国からの産地交付金等を最大限に活用し、実需者の多様なニーズに応えていく。

（４）麦、大豆、てん菜、小豆、飼料作物

麦、大豆について、国の増産意向に基づき、今後、作付面積が増加する見込みである。ただし、過去の麦の病気の問題から連作を回避し、畑作物で適正な輪作体系の構築に向けた取り組みの推進を行っていく必要がある。

また、麦、大豆、てん菜及び小豆については、これまでどおり施肥設計書及び湿害対策（心土破砕、たい肥施用、明暗渠施工等）に基づき、優良品種への転換、湿害対策の実施や機械等の導入による省力化を併せて進めていく。

飼料作物については、麦、大豆、てん菜及び小豆と同様、施肥設計書に基づき、品質及び生産性の向上を図ることはもちろん、永年性牧草については高位草地への転換を通じて、良質な粗飼料生産を図る。また、子実用とうもろこしについても輪作可能な作物として、輪作体系への取り入れ引き続き支援する。

（５）子実用とうもろこし

子実用とうもろこしについては、適正な輪作体系確保のために、積極的に導入が開始されている、輪作体系へ組込みこむことにより、圃場の排水性改善、連作障害の回避などが期待されることから、品質の向上に寄与するよう推進していくとともに、適正な施肥管理設計書及び湿害対策(心土破砕、たい肥施用、明暗渠施工等)の実施による対策を推進し、生産性を向上し、作物の振興を図る。

（６）そば、なたね

そばは、契約栽培を基本に、適正な施肥設計書と湿害対策（心土破砕、たい肥施用、明暗渠施工等）の実施による排水対策を推進し、生産性向上を図る。

（７）地力増進作物

地力増進作物の作付を行うことで、土壌病害の軽減や有害線虫が抑制され、作物の連作を回避し、病害の減少や安定供給・品質の向上が図られることから、通常の麦、大豆、野菜後の休耕だけではなく、水稲前後作の輪作体系への組込みも行う地力増進作物に対しても支援する。対象とする地力増進作物は下記のとおりとする。

えん麦、とうもろこし、ソルガム、イタリアンライグラス、ギニアグラス、スーダングラス、アカクローバー、クリムソンクローバー、ベッチ類、ペルコ、カラシナ類、レバナ、はぜりそう、マリーゴールド、ひまわり、キガラシ、ステビア、なたね、ヘイオーツ、ライ麦、コスモス

（８）高収益作物

野菜等の高収益作物については、市場出荷・直売所での販売を問わず、様々な種類の野菜等を生産している地域特性から、各作物の品質の向上に資するために適正な施肥設計書及び湿害対策に基づき、生産性を向上するよう推進していくとともに、地域の輪作体系の一作として組み込まれる地域戦略作物として位置づけ、さらに近年市場等でのニーズが高い加工用・業務用野菜や輸出の取り組みに対しても支援する。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　**８　産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５　作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	881.79	－	931.7	－	805.80	－
備蓄米	0.00	－	0.00	－	0.00	－
飼料用米	0.00	－	0.00	－	15.93	－
米粉用米	18.28	－	15.41	－	16.07	－
新市場開拓用米	0.77	－	0.77	－	1.98	－
WCS用稲	48.60	－	26.15	－	31.38	－
加工用米	58.15	－	58.15	－	5.49	－
麦	997.76	－	975.88	－	1334.86	－
大豆	328.28	－	319.57	－	483.13	－
飼料作物	109.18	－	119.99	－	732.42	－
・子実用とうもろこし	5.09	－	5.00	－	21.56	－
そば	0.00	－	0.00	－	2.61	－
なたね	0.00	－	0.00	－	0.00	－
地力増進作物	38.47	－	36.14	－	30.10	－
高収益作物	399.73	－	380.2	－	672.58	－
・野菜	399.34	－	379.97	－	666.74	－
・花き・花木	0.33	－	0.23	－	1.08	－
・果樹	0.00	－	0.00	－	4.76	－
・その他の高収益作物	0.06	－	0.00	－	0.00	－
その他	194.36	－	191.85	－	319.20	－
・てん菜	79.97	－	79.45	－	170.78	－
・小豆	114.24	－	112.19	－	146.17	－
・その他菜豆	0.00	－	0.00	－	0.87	－
・薬草	0.15	－	0.21	－	1.38	－
畑地化	269.37	－	16.48	－	30.00	－

６ 課題解決に向けた取組及び目標

【単位:a】

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・新市場開拓用米・小麦・大豆・飼料作物・甜菜・業務加工用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆・花卉・花木・果樹・そば（全て種子を含む）（別紙参照）	土壌改良加算	土壌分析CEC(me値) CEC目標値達成戸数 取組面積（a）	（７年度）28.00 （７年度）50% （７年度）158,636	（８年度）27.50 （８年度）70% （８年度）307,100
2	甜菜・薬草（加工・業務用） 全て種子含む（別紙参照）	地域戦略作物助成 （甜菜・薬草）	土壌分析CEC(me値) 取組面積（a）	（７年度）28.00 （７年度）8,053	（８年度）27.50 （８年度）12,000
3	野菜（加工・業務用含む） 全て種子含む（別紙参照）	地域戦略作物助成 （野菜）	取組面積（a）	（７年度）38,707	（８年度）61,500
4	小豆・菜豆・花卉・花木・果樹 全て種子含む（別紙参照）	地域振興作物助成	土壌分析CEC(me値) 取組面積（a）	（７年度）28.00 （７年度）11,447	（８年度）27.50 （８年度）18,500
5	そば 種子含む（別紙参照）	そば作付助成	土壌分析CEC(me値) 作付面積（a）	（７年度）28.00 （７年度）0	（８年度）27.50 （８年度）800
6	地力増進作物（1年緑肥） （別紙参照）	土づくり加算	取組面積（a）	（７年度）3,680	（８年度）1,800
7	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・小麦・大豆・飼料作物（牧草を除く）・甜菜・業務加工用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆（全て種子含む）（別紙参照）	輪作加算（3年以上）	土壌分析CEC(me値) 3年輪作取組面積（a） 対象作物作付面積（a）	（７年度）28.00 （７年度）82,253 （７年度）204,945	（８年度）27.50 （８年度）131,500 （８年度）335,600
8	野菜・薬草 全て種子含む（別紙参照）	加工・業務用加算	土壌分析CEC(me値) 取組面積（a）	（７年度）28.00 （７年度）2,220	（８年度）27.50 （８年度）8,100
9	牧草・デントコーン （別紙で定める飼料作物）	耕畜連携助成 （資源循環）	対象作物作付面積（a） 資源循環の取組面積（a）	（７年度）11,541 （７年度）2,709	（８年度）82,700 （８年度）19,100
10	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・新市場開拓用米・小麦・大豆・飼料作物（牧草を除く）・甜菜・業務加工用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆・花卉・花木・果樹（全て種子含む）（別紙参照）	転換作物拡大加算	転換面積（a）	（７年度）5,763	（８年度）3,500
11	飼料作物（永年性牧草に限る）	永年性牧草生産性向上助成	土壌分析CEC(me値) 対象作物作付面積（a） は種を行わず収穫を行う面積（a）	（７年度）28.00 （７年度）10,399 （７年度）8,893	（８年度）27.50 （８年度）74,300 （８年度）43,200
12	新市場開拓用米（輸出用米）	新市場開拓用米作付助成	取組面積（a）	（７年度）0	（８年度）250
13	新市場開拓用米（輸出用米）	新市場開拓用米複数年契約助成	取組面積（a）	（７年度）0	（８年度）250

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：北海道

協議会名：江別市地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	土壌改良加算	1	1,500円/10a （上限8,000円/10a）	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・新市場開拓用米・小麦・大豆・飼料作物・甜菜・加工業務用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆・花卉・花木・果樹・そば（全て種子を含む）（別紙参照）	①土壌診断（必須）に基づく施肥設計 ②下記の取組実施（1つ以上） ・湿害対策 ・土壌改良資材散布 ・カルシウム資材散布 ・堆肥散布（1t以上/10a） ・バイオガスプラント精製後の消化液散布 ・前緑肥作物の取入れ鋤きこみ
2	地域戦略作物助成（甜菜・薬草）	1	35,000円/10a （単価固定）	甜菜・薬草（加工・業務用含む）（全て種子含む）（別紙参照）	①土壌改良加算の取組前提 ②地域の輪作体系に組み込まれる作物で、出荷・販売を目的として作物生産
3	地域戦略作物助成（野菜）	1	35,000円/10a （単価固定）	野菜（加工・業務用含む）（全て種子含む）（別紙参照）	①助成対象作物を作付した生産者
4	地域振興作物助成	1	30,000円/10a （単価固定）	小豆・菜豆・花卉・花木・果樹（全て種子含む）（別紙参照）	①土壌改良加算の取組前提 ②出荷・販売を目的として作物生産
5	そば作付助成	1	20,000円/10a （単価固定）	そば（種子含む）（別紙参照）	①土壌改良加算の取組前提 ②播種前契約による出荷・販売
6	土づくり加算	1	20,000円/10a （単価固定）	地力増進作物（1年緑肥）（別紙参照）	1年休閑し緑肥作物を圃場へすき込む。
7	輪作加算（3年以上）	1	4,300円/10a以内	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・小麦・大豆・飼料作物（牧草を除く）・甜菜・加工業務用野菜・野菜・薬草・小豆・菜豆（全て種子を含む）（別紙参照）	①土壌改良加算の取組前提 ②3年輪作の実施
8	加工・業務用加算	1	5,300円/10a以内	野菜・薬草（全て種子含む）（別紙参照）	①土壌改良加算の取組前提 ②播種・定植段階から、業務用・加工向けに作物生産 ③畑作物産地形成促進事業に採択された農地は対象外とする。
9	耕畜連携助成（資源循環）	3	12,100円/10a （単価固定）	牧草・デントコーン（別紙で定める飼料作物）	利用供給協定に基づき、耕種農家が飼料作物を生産し、①わら利用②堆肥散布の取組が行われる場合に助成
10	転換作物拡大加算	1	8,700円/10a以内	飼料用米・米粉用米・WCS用稲・加工用米・新市場開拓用米・小麦・大豆・飼料作物・甜菜・薬草・野菜（加工・業務用含む）・小豆・菜豆・花卉・花木・果樹（全て種子含む）（別紙参照）	①当該年度において、前年度主食用米を作付した圃場に対象作物を作付けしている場合、その転換した面積に対して助成
11	永年性牧草生産性向上助成	1	3,500円/10a （単価固定）	飼料作物（永年性牧草に限る） （戦略作物助成において、1.0万円/10aの対象となる（播種を行わず収穫を行う）ほ場）	①土壌改良加算の取組前提 ②下記の取組を1つ以上 ・2番草の収穫又は放牧地における掃除刈 ・化学肥料の削減（施肥標準から3割以上の減） ・農薬使用量の削減（R7で農薬を使用している場合、R7から3割以上の減）
12	新市場開拓用米作付助成	1	20,000円/10a （単価固定）	新市場開拓用米（輸出用米）	①下記の取組を2つ以上 ・土壌分析結果に基づく施肥 ・明暗渠排水の整備 ・心土破砕、穿孔排水による透・排水性の改善（いづれか一つ実施） ・ケイ酸資材の施用 ・温湯種子消毒の実施 ・融雪剤散布 ・収穫後の溝切りによるほ場の乾燥化
13	新市場開拓用米複数年契約助成	1	10,000円/10a （単価固定）	新市場開拓用米（輸出用米）	①当年に新たに締結する契約であること。 ②当年産以降の連続した3年分を含む複数年契約であること。 ③契約書において、各年産の契約数量及び契約価格（契約価格の設定方法を含む）が明確に記載されており、かつ、契約不履行に対する違約規定があること。 ④契約対象となる2年目以降の各年産の契約数量が、いずれも前年産の契約数量を下回らないこと。（＝契約数量が契約期間中に維持または増加していること）。 ⑤不作時における契約数量の調整規定があること。 ⑥コメ新市場開拓等促進事業で採択されていること。

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。

※2「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙

江別市地域農業再生協議会
産地交付金対象とする作物の設定(全ての作物で種子含む)

	区分	
1	小麦	(種子用小麦含む)
2	てん菜	(食用ビート含む)
3	豆類	大豆
4		小豆
5		菜豆（いんげん）
6		えんどう
7		黒大豆
8	野菜	あさつき
9		明日葉
10		味美菜
11		アスパラガス（グリーン）
12		アスパラガス（ホワイト）
13		アスパラガス（紫）
14		アピオス
15		いちご
16		いんげん
17		うど
18		うり
19		エゴマ
20		えだまめ
21		大麦（若葉収穫用に限る）
22		オクラ
23		カイラン
24		かいわれだいこん
25		かぶ
26		かぼちゃ
27		カリフラワー
28		かんしょ
29		菊菜
30		きのこ
31		キャベツ
32		きゅうり
33		ぎょうじゃにんにく
34		クレソン
35		くわい
36		ケール
37		ゴーヤ
38		こごみ
39		ごぼう
40		こまつな
41		こもちかんらん
42		こんにゃく
43		ささげ
44		さつまいも
45		さといも
46		サニーレタス
47		さやいんげん
48		さやえんどう
49		サラダ菜
50		サンチュ
51		ししとう
52		しそ
53		しゅんぎく
54		じゅんさい
55		しょうが
56		食用キク
57		食用ハーブ
58		食用ゆり(ゆりね)
59		シロウリ
60		しろ菜
61		スイートコーン
62		すいか
63		ズッキーニ
64		スナップエンドウ
65		せり
66		セルリー
67		ぜんまい
68		そらまめ
69		ソルトリーフ
70		タアサイ
71		ばれいしょ
72		だいこん
73		たいな
74		たまねぎ
75		たらの芽
76		チコリ
77		ちんげんさい
78		テンダーポール（花ニラ）
79		とうがらし
80		冬瓜
81		トマト
82		ながいも
83		なす

	区分	
83	野菜	なた豆
84		なんばん
85		にがうり
86		にら
87		にんじん
88		にんにく
89		にんにくの芽
90		ねぎ
91		野沢菜
92		はくさい
93		パクチー
94		パセリ
95		花みょうが
96		パプリカ
97		はまぼうふう
98		ピーマン
99		広島菜
100		ブロッコリー
101		ベビーリーフ
102		ほうれんそう
103		まくわうり(カンロ)
104		実えんどう(グリーンピース)
105		みずな
106		水わさび
107		みつば
108		実取りカラシ
109		ミニかぼちゃ
110		ミニトマト
111		みぶ菜
112		みょうが
113		メロン
114		モロヘイヤ
115		ヤーコン
116		山ごぼう
117		大和芋
118		やまのいも
119		山わさび
120		ゆりね
121		落花生
122		らっきょう
123		ラディッシュ
124		リーキ(ポワロ)
125		ルッコラ
126		ルバーブ
127		レタス
128		れんこん
129		わさび
130		わさびだいこん
131		菜花
132		ビーツ
133		コリアンダー
134		ワキシーコーン(もちトウモロコシ)
135	花き	アイリス
136		アゲラタム
137		アザミ
138		アジサイ（切枝）
139		アスクレピアス
140		アスター
141		アスチルベ
142		アストランチャ
143		アスパラガス（観賞用）
144		アトランティアマヨール
145		アナベル（切枝）
146		アネモネ
147		アマランサス
148		アリウム
149		アリストロメリア
150		アルケミラ
151		アルブカ
152		アロニア（切枝）
153		イキシア
154		イタリアンルスカス
155		インパチェンス
156		ウイキョウ
157		ウインターグラジオラス

別紙

江別市地域農業再生協議会
産地交付金対象とする作物の設定(全ての作物で種子含む)

	区分	
158	花き	うばゆり(ユリ科)
159		ウメモドキ（切枝）
160		エキノプシス
161		エボタ
162		エリンジウム
163		エレムルス
164		オオデマリ（切枝）
165		オーニソガラム
166		オダマキ
167		オレガノ
168		カーネーション
169		ガーベラ
170		カキツバタ
171		カスミソウ
172		かぼちゃ（観賞用）
173		ガマ(ガマ科)
174		カラー
175		カンゾウ
176		カンパニュラ
177		きいちご（観賞用）（切枝）
178		ギガンジウム
179		キク
180		菊アスター(キク科)
181		切葉類
182		キャラウェイ
183		キャンディタフト
184		金風車(キク科)
185		きんぎょそう
186		クジャクソウ
187		グラジオラス
188		グラスペディア
189		クリスマスローズ
190		クレマチス
191		グロリオーサ
192		けいとう
193		小菊
194		コスモス
195		コティナス
196		コデチャ
197		コデマリ
198		コワニー(ユリ科)
199		サイネリア
200		サクラ（切枝）
201		桜小町
202		サクラソウ
203		サリクトラム
204		サンダーソニア
205		シオン(キク科)
206		シクラメン
207		ジニア
208		シモツケ
209		シャクヤク
210		宿根デージー
211		ショウブ
212		シレネ
213		白妙菊
214		シンフォリカルフォス（切枝）
215		スイートピー
216		スイセン
217		スカビオサ
218		スキミア
219		スズメウリ
220		スズラン
221		スターチス
222		スタキス
223		スティパ
224		ストック
225		ストロベリーコーン
226		ストロベリースティック
227		スナップ
228		スノーボール（切枝）
229		スピードリオン
230		スモークグラス
231		スモークツリー（切枝）
232		スモグソウ
233		セダム
234		セファロフォラ（加工用）
235		ゼラニウム
236		セロシオ
237		セントーレアオリエンタリス

	区分	
238	花き	千日紅
239		センニチソウ
240		ソリダコタラ
241		ソリダスター
242		ダイアンサス
243		大根草
244		ダスティーミラー
245		ダリア
246		チューリップ
247		チョコレートコスモス
248		ツルウメモドキ（切枝）
249		てまり草
250		テマリシモツケ
251		デルフィニウム
252		とうがらし（観賞用）
253		トリカブト
254		トリトマ
255		トルコギキョウ
256		トロリウス
257		ナス（観賞用）
258		ナスタチウム
259		ナデシコ
260		ナナカマド（切枝）
261		ナルコユリ
262		ニゲラ
263		ネマヘラソウ
264		ネムリヒメ(アヤメ科)
265		ネリネ
266		バイカウツギ（切枝）
267		ハス
268		とうきび(観賞用)
269		ハナナス
270		パニカム
271		パブチシア
272		ハボタン
273		バラ
274		バラ実もの（切枝）
275		パンジー
276		ビオラ
277		ビブルナム
278		ヒペリカム（切枝）
279		ヒマワリ
280		ヒメヒコダイ
281		ヒメヒマワリ
282		ヒャクニチソウ
283		ピンピネラ
284		フェンネル
285		フサスグリ（切枝）
286		ふじなでしこ
287		フジバカマ
288		ブッチーニ(ウリ科)
289		ブプレウルム
290		フリージア
291		ブルースター
292		ブルースプレー
293		ブルビネラ
294		フロックス
295		ベコニア
296		ペチュニア
297		ベニバナ（カルタムス）
298		ヘリクリサム
299		ヘレニューム
300		ベロニカ
301		ポインセチア
302		ホオズキ
303		ボタン
304		ホトトギス
305		マーガレット
306		マトリカリア
307		マンサク
308		ミズヒキ
309		ミナズキ（切枝）
310		ムギ（観賞用）
311		ムスカリ
312		紫式部（切枝）
313		メコノプシス
314		メロン（観賞用）
315		モナルダ
316		モルセラ
317		ヤマゴボウ

別紙

江別市地域農業再生協議会
産地交付金対象とする作物の設定(全ての作物で種子含む)

	区分		
318	花き		ヤナギ（切枝）
319			山ブドウ(ブドウ科)
320			ユーカリ
321			ユーストマ
322			ユーパトリウム
323			ユーホルビア
324			ユキヤナギ(バラ科)
325			ユリ
326			洋ラン類
327			ラークスパー
328			ライラック（切枝）
329			ラナンキュラス
330			ラベンダー
331			ラムズイヤー
332			リアトリス
333			リナリア
334			リオン
335			リシマキア
336			リンゴ（観賞用）（切枝）
337			リンドウ
338			ルドベキア
339			ルリタマアザミ
340			レースフラワー
341			ローズマリー
342			ロマネスコ
343			ワレモコウ
344			利休草
345	果樹（小果樹）		ブルーベリー
346			ハスカップ
347			もも
348			リンゴ
349	地力増進作物		えん麦
350			とうもろこし
351			ソルガム
352			イタリアンライグラス
353			ギニアグラス
354			スーダングラス
355			アカクローバー
356			アルサイククローバー
357			クリムソンクローバー
358			ベッチ類
359			ペルコ
360			カラシナ類
361			レバナ
362			はぜりそう
363			マリーゴールド
364			ひまわり
365			キガラシ
366			ステビア
367			ナタネ
368			ヘイオーツ
369			ライ麦
370			コスモス
371			
372	花木	花木（観賞用樹木）	アジサイ
373			アナベル
374			アロニア
375			イチイ
376			ウメモドキ
377			エニシダ
378			オオデマリ
379			カイヅカイブキ
380			かえで
381			カリンズ
382			きいちご（観賞用）
383			金宝樹
384			コティナス
385			サクラ
386			サツキ
387			サンゴミズキ
388			シキンカラマツ
389			シンフォリカルポス
390			スノーボール
391			ツゲ系
392			ツツジ
393			ナナカマド

	区分		
394	花木		バラ実もの
395			ヒバ系
396			ヒペリカム
397			ブルーベリー（観賞用）
398			マンサク
399			ミナズキ
400			モミジ
401			ユーカリ
402			ライラック
403	その他作物		アナベル
404			アロニア
405			ウメモドキ
406			オオデマリ
407			きいちご（観賞用）
408			サクラ
409			シンフォリカルポス
410			スノーボール
411			スモークツリー
412			ツルウメモドキ
413			ナナカマド
414			バラ実もの
415			ヒペリカム
416			フサスグリ
417			ミナズキ
418			紫式部
419			ヤナギ
420			ユキヤナギ
421			ライラック
422			ライラック
423			リンゴ
424		苗もの	野菜苗
425			花壇苗
426			果樹苗
427			苗木
428		薬草	
429	飼料作物	牧草	オーチャードグラス
430			チモシー
431			イタリアンライグラス
432			ペレニアルライグラス
433			トールフェスク
434			メドーフェクス
435			フェストロリウム
436			ケンタッキーブルーグラス
437			リードカナリーグラス
438			パヒアグラス
439			ギニアグラス
440			カラードギニアグラス
441			アラファルファ
442			オオクサキビ
443			アカクローバ
444			シロクローバ
445			ローズグラス
446			パラグラス
447			パンゴラグラス
448			ネピアグラス
449			ハイブリッドライグラス
450			スムーズブロムグラス
451			アルサイククローバ
452			ガレガ
453			セタリア
454		デントコーン	
455		その他	青刈り麦
456			青刈りとうもろこし
457			青刈りソルガム
458			テオシント
459			スーダングラス
460			青刈り大豆
461			子実用えん麦、
462			子実用とうもろこし
463			青刈りひえ
464			しこくびえ
465			飼料用かぶ
466			飼料用ビート
467			飼料用しば
468	加工用米	加工用として作付・生産・販売を行うもの	
469	新規需要米	米粉用として作付・生産・販売を行うもの	
470		飼料用として作付・生産・販売を行うもの	
471		輸出用として作付・生産・販売を行うもの	
472	WCS用稲	飼料用として作付・生産・販売を行うもの	